

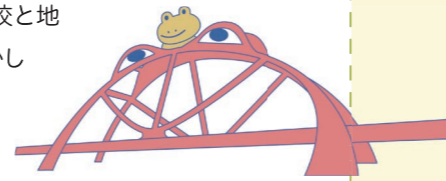
# きのくに コミュニティ スクール

vol.11 | 印南町

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール)とそれを支える既存の「共有コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

印南町では、平成31年度(令和元年度)に4つの小中学校運営協議会を設置し、児童生徒を豊かに育み、人と人とのつながりを構築することを目的に、地域共有コミュニティ事業を継続、発展させながら地域と一体となった学校づくりを進めています。

地域学習や共有ミニ集会の実施、ボランティア活動など地域活動への積極的な参加等により、共に学び、共に育つ場を設けることで、協働した取組を推進しています。開かれた学校から更に一步踏み出し、どのような子供たちを育てるのかという目標やビジョンを学校と地域等が共有し、それぞれの地域の特色を生かしながら、地域とともにある学校を目指して取組を進めています。



# きのくに教育めぐり



## 新宮市 教育委員会



新宮市は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」<sup>1</sup>として評価された「熊野参詣道」「大峯奥駈道」をはじめ、熊野新宮の豊かな自然が織りなした多くの自然・文化遺産を有するとともに、佐藤春夫や中上健次、東くめ、西村伊作などの多くの文化人を輩出しています。

message

### 教育長挨拶

新宮市教育委員会教育長  
はやみ しげやす  
速水 盛康



熊野速玉大社

新宮市では「人とまちが輝き、『未来』へつなぐまち新宮市」をテーマに、「心豊かな人を育むまち」「魅力ある文化がつなぐにぎわいのまち」を教育行政の政策目標としております。その中で、学校教育・社会教育を通じた生涯学習活動により、市民憲章に謳われている『われら地球人 われら新宮人』を目指すための活動の場を保障し、学習機会を提供し、市民一人ひとりの人権尊重の精神を高める教育・啓発活動を展開しています。

## 熊野地域の文化交流の拠点となる施設を目指して



丹鶴ホール(外観)

令和3年10月3日、新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」<sup>たんかく</sup>がオープンしました。

「丹鶴ホール」は、文化ホール、図書館、熊野学センター機能を備えた文化活動の拠点施設です。最大収容人員1,142名の文化ホールの客席には移動観覧席が採用されており、通常の劇場型のほか、客席を全て撤去した平土間形式など、開催するイベントに合わせ多様な使い方ができるようになっています。

2階には、旧市民会館から移設した名誉市民・村井正誠氏の壁画や熊野の歴史・文化などを紹介する常設のパネル展示のほか、熊野学を発信していく熊野学研究室があります。



丹鶴ホール(4階:図書館)



丹鶴ホール  
TANIGAKI HALL

4階に位置する図書館には、名誉市民で芥川賞作家の中上健次コーナーやCD・DVD視聴コーナー、おはなしのへや等を備えています。また、四方の窓が広く取られており、権現山・神倉神社、新宮城跡や熊野川を一望できるほか、天気の良い日にはデッキに出ることもできます。

## ヤタガラス子ども未来プロジェクト

～ふるさとの未来を託せる子供の育成～

新宮市では、郷土への誇りと愛着を育むため、ふるさと教育の充実を図っています。新宮市立神倉小学校では、地域の歴史や文化等を学ぶ「ふるさと学習」を行っています。この学習では、学校運営協議会の委員がコーディネーターとして学校と地域をつなぐことによって、多くのボランティアが児童の学びをサポートしてくださっています。

同校では、この取り組みを「ヤタガラス子ども未来プロジェクト」と名付け、学校運営協議会で話し合いを重ねながらふるさとの未来を託せる子供たちを育成しています。

これまでに、児童は新宮市出身の文化人(佐藤春夫、西村伊作等)、新宮市の伝説や祭り(お燈祭り)、地域の商店街などについて学習しています。



学習の様子(1年生:お燈祭り)

## 防災教育を通じた地域連携 —切目小・中学校—

コミュニティ・スクールの一環として実施している切目っ子地域連携会議による地震津波避難訓練では、切目小・中学校の児童生徒と地域の人々が合同で避難訓練を実施しています。

令和3年度は、地域の人々とともに登校中を想定した地震津波避難訓練を実施しました。訓練では避難するだけでなく、印南町役場や自主防災組織とも連携し、避難訓練に関する講評やドローンでの空撮、段ボール間仕切り体験、ワークショップ等も実施し、学校・家庭・地域が連携した防災教育を行っています。



(切目小・中学校:自主防災組織による避難訓練の講評)



(切目中学校:住民、生徒合同ワークショップ)

## 農体験学習を核とした地域交流活動 —稲原小・中学校—



(稲原中学校:田植え)

稲原小学校ではさつまいも栽培を、稲原中学校では平成17年度から始まった稲中農業(田植え・野菜作り等)を、農業士、JA職員、地域住民、保護者とともに進めています。

稲中農業では、収穫した野菜等を活用した調理実習や地域住民との餅つき大会を実施することで、食育や地域交流につなげ、地域とともにある学校を目指した取組を実践しています。



(稲原小学校:さつまいも栽培)

県立図書館 文化情報センター  
和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9530

## サマー遊ing2022

～遊びの中で「学ぶ楽しさ・知るよろこび」～

開催期間 令和4年7月21日(木)～24日(日)

場所 県立図書館2階  
メディア・アート・ホール、講義・研修室 他

ウミガメの赤ちゃんとふれあい和歌山の海を学ぼう! 他にも、おもしろ工作教室・勾玉づくり教室・貝殻細工教室・らくらくピアノ教室・子ども落語教室など魅力ある教室を実施し、子供たちの学びの場を提供します。



ウミガメ  
プリーディング

おもしろ工作教室

勾玉づくり教室